

日本陸上競技連盟からのお知らせ

目 次

■ 2022年度 主要競技会日程 (案)

■ 活動報告

JTOs 研修会報告

2022年1月29日(土)にオンラインにてJTOs研修会を実施しました。

2021(令和3)年度 日本陸上競技連盟全国競技運営責任者会議報告

2022年2月12日(土)・13日(日)にオンラインにて全国競技運営責任者会議を実施しました。2022年度競技規則修改改正提案や、施設用器具委員会、オリンピック・パラリンピック等の報告を行いました。

第46回日本陸上競技連盟トレーナー研修会報告

2022年1月16日(日)に第46回日本陸上競技連盟トレーナー研修会をオンライン研修会として開催しました。日本陸連トレーナー部は活動理念として、「選手のピークパフォーマンス発揮に貢献する」、「安全で健全な陸上競技環境作りに貢献する」を掲げており、登録部員を対象に研修会を行い、スキルアップを図ることを重要な事業の1つとしています。

■ 大会観戦ガイド

「第46回全日本競歩能美大会 併催 第16回日本学生 20km競歩選手権大会 兼 オレゴン2022世界陸上競技選手権大会 日本代表選手選考競技大会 兼 杭州2022アジア競技大会 日本代表選手選考競技会 兼 ワールドユニバーシティゲームズ(2021/成都) 日本代表選手選考競技会」

「第106回日本陸上競技選手権大会・35km競歩 兼 オレゴン2022世界陸上競技選手権大会 日本代表選手選考競技会 兼 杭州2022アジア競技大会 日本代表選手選考競技会 第61回全日本競歩輪島大会<斉藤和夫杯:男女全日本10km競歩> 兼 カリ2022 U20世界陸上競技選手権大会 日本代表選手選考競技会」

「第24回長野マラソン」

■ 事務局からのお知らせ

「今、最も強いランナーは誰だ!?」3月下旬、ジャパンマラソンチャンピオンシップシリーズ(JMCシリーズ)初代王者決定!

セイコーゴールドングランプリ陸上2022東京 キービジュアル第1弾公開!~国立競技場であの熱狂を再び~

「その日、決まる。その日、始まる。」~王者誕生の日、そして世界への扉が開く日~第106回日本陸上競技選手権大会 第1弾キービジュアル公開!

information

- ・ 日本陸連登録料の設定について

<https://www.jaaf.or.jp/about/fee/>



- ・ シューズ規則/広告規定について

<https://www.jaaf.or.jp/about/resist/technical/>



- ・ 陸上競技場、長距離競走路の認定について

<https://www.jaaf.or.jp/about/resist/shisetsu/>



- ・ 代表選手派遣大会選考要項 2022年度

<https://www.jaaf.or.jp/news/article/15231/>



- ・ アンチドーピング/鉄剤注射の防止

<https://www.jaaf.or.jp/about/resist/medical/>



- ・ 【オレゴン世界選手権】エントリースタンダード

https://www.jaaf.or.jp/files/upload/202108/17_171714.pdf



2022年度 主要競技会日程(案)

※主要競技会日程は、2022年3月の理事会で最終承認されます。

2022年2月3日現在

| | 主催・共催競技会 | | | 主要競技会 | | | 国際競技会 | | | | |
|------------|----------------------|----------------------|--------------------------------|-------------|---------|-----------------|----------------------------------|----------------------|-------------|------------------|--------------|
| | 期日 | 競技会名 | 場所 | 期日 | 競技会名 | 場所 | 期日 | 競技会名 | 場所 | | |
| 4月 | 17(日) | 106 日本選手権・35km競歩 | 輪島(石川) | 9(土) | ★ GP | 30 金業記念選抜中長距離 | えがお健康スタジアム(熊本) | | | | |
| | 17(日) | 24 長野マラソン | 長野 | 15(金)~17(日) | ○ | 22 日本学生個人 | レモンガススタジアム平塚(神奈川) | | | | |
| | | | | 23(土)~24(日) | ★ | GP | 76 出雲陸上 | 島根県立浜山公園(島根) | | | |
| | | | | 23(土)~24(日) | ★ | GP | 70 兵庫リレーカーニバル | 神戸総合(運)ユニバー記念(兵庫) | | | |
| | | | | 24(日) | ★ | GP | 11 ぎふ清流ハーフマラソン | 岐阜 | | | |
| | | | 29(金・祝) | ★ | CT-B GP | 56 織田記念陸上 | 広島広域公園(広島) | | | | |
| | | | 30(土)~5/1(日) | ★ | CT-B GP | 9 木南道孝記念 | ヤンマースタジアム長居(大阪) | | | | |
| 5月 | 7(土) | 106 日本選手権・10000m | 国立競技場(東京) | 3(火・祝) | ★ | CT-B GP | 37 静岡国際陸上 | 小笠山(運)静岡スタジアム(静岡) | | | |
| | 8(日) | CT-G '22 ゴールデングラプリ陸上 | 国立競技場(東京) | 4(水・祝) | ★ | GP | 33 ゴールデンゲームズ04 | 延岡市西階(宮崎) | | | |
| | 調整中 | 68 全日本中学通信陸上 | 各地 | 5(木・祝) | ★ | GP | '22 水戸招待陸上 | ケーズデンキスタジアム水戸(茨城) | | | |
| | | | | 8(日) | ★ | | '22 仙台国際ハーフマラソン | 宮城 | | | |
| 6月 | 4(土)~5(日) | 106 日本選手権・混成競技 | 秋田県営(秋田) | 26(日) | ★ | GP | '22 布勢スプリント | 鳥取県立布勢総合(鳥取) | | | |
| | 4(土)~5(日) | 38 U20日本選手権・混成競技 | 秋田県営(秋田) | | | | | | | | |
| | 9(木)~12(日) | 106 日本選手権 | ヤンマースタジアム長居(大阪) | | | | | | | | |
| | 9(木)~12(日) | 38 U20日本選手権 | ヤンマースタジアム長居(大阪) | | | | | | | | |
| | 22(水) | ホクレンDC | 深川市(北海道) | | | | | 30(木)~7/5(火) | 7-那ユニバーシティ | 成都(中国) | |
| 7月 | 2(土) | ホクレンDC土別大会 | 土別市(北海道) | 10(日) | ★ | GP | 35 南部記念 | 札幌市厚別公園(北海道) | 15(金)~24(日) | '22 世界選手権 | オレゴン(アメリカ) |
| | 6(水) | ホクレンDC深川大会 | 深川市(北海道) | | | | | | | | |
| | 9(土) | ホクレンDC北見大会 | 北見市東陵公園(北海道) | | | | | | | | |
| | 13(水) | ホクレンDC網走大会 | 網走市(運)(北海道) | | | | | | | | |
| | 16(土) | ホクレンDC千歳大会 | 千歳市青葉(北海道) | | | | | | | | |
| 8月 | 1(月)~3(水) | 57 全国定通制高校陸上 | 駒沢オリンピック公園(東京) | 6(土) | ★ | | 62 実業団・学生大会 | レモンガススタジアム平塚(神奈川) | 1(月)~6(土) | 19 U20世界陸上競技選手権 | カリ(コロンビア) |
| | 3(水)~7(日) | 75 全国高校陸上 | 鳴門大塚スポーツパーク ボカシエホススタジアム(徳島) | 7(日) | ★ | | 45 蔵王坊平アスリートヴィレッジ トリ大会 | 蔵王坊平アスリートヴィレッジ 山形 | | | |
| | 18(木)~21(日) | 49 全国中学陸上 | ひびきみなみのスタジアム(福島) | | | | | | 23(火)~29(月) | 日韓ジュニア交流大会 | (中国) |
| | 20(土) | 38 全国小学生陸上 | 日産スタジアム(神奈川) | 28(日) | ★ | | '22 北海道マラソン | 北海道 | | | |
| | 調整中 | 57 全国高専陸上 | 愛媛県総合(運)(愛媛) | | | | | | | | |
| 9月 | | | | 9(金)~11(日) | ○ | | 91 日本学生対校 | たけびしスタジアム(京都) | 10(土)~25(日) | 19 アジア大会 | 杭州(中国) |
| | | | | 23(金)~25(日) | ★ | | 70 全日本実業団 | 岐阜メモリアルセンター長良川(岐阜) | | | |
| | | | | 23(金)~25(日) | ★ | | 43 全日本マスターズ | 福井県福井(運)(福井) | | | |
| 10月 | 1(土)~2(日) | 106 日本選手権・リレー競技 | 調整中 | 2(日) | | CT-B GP | 22 Denka Athletics Challenge Cup | デンカビックスワン(新潟) | | | |
| | 6(木)~10(月) | 77 国民体育大会 | 栃木県総合(運)(栃木) | 10(月・祝) | ○ | | 34 出雲全日本大学選抜駅伝 | 島根 | | | |
| | 16(日) | レガシーハーフマラソン | 東京 | 16(日) | | GP | 19 田島記念 | 維新百年記念公園(山口) | | | |
| | 21(金)~23(日) | 53 U16陸上競技大会 | 愛媛県総合(運)(愛媛) | 23(日) | | | 60 全日本35km競歩高島 | 山形 | | | |
| | 21(金)~23(日) | 16 U18陸上競技大会 | 愛媛県総合(運)(愛媛) | 30(日) | ○ | | 40 全日本大学女子駅伝 | 宮城 | | | |
| 11月 | | | | 6(日) | ○ | | 54 全日本大学駅伝 | 愛知・三重 | | | |
| | | | | 13(日) | | | 37 東日本女子駅伝 | 福島 | 13(日) | 25 世界ハーフマラソン選手権 | 揚州(中国) |
| | | | | 20(日) | | | 10 神戸マラソン | 神戸(兵庫) | | | |
| | | | | 調整中 | | | 42 全日本実業団女子駅伝 | 宮城 | | | |
| 12月 | 18(日) | 30 全国中学駅伝 | 希望が丘(滋賀) | 調整中 | | | '22 長崎協賛競歩 | 長崎県立総合(運)(長崎) | | 3 アジアユース競技大会 | 汕頭(中国) |
| | 25(日) | 73 34 全国高校駅伝 | 京都 | 4(日) | | | 53 防府読売マラソン | 山口 | | | |
| | | | | 18(日) | | | 41 山陽女子ロードレース | 岡山 | | | |
| | | | 30(金) | ○ | | '22 全日本大学女子選抜駅伝 | 静岡 | | | | |
| 2023 1月 | 15(日) | 41 都道府県対抗女子駅伝 | 京都 | 1(日・祝) | | | 67 全日本実業団対抗駅伝 | 群馬 | | | |
| | 22(日) | 28 都道府県対抗男子駅伝 | 広島 | 1(日・祝) | | | 71 元旦競歩 | 東京 | | | |
| | 調整中 | 42 大阪国際女子マラソン | 大阪 | 調整中 | | | '23 大阪ハーフマラソン | 大阪 | | | |
| 2月 | 4(土)~5(日) | 106 日本選手権・室内競技 | 大阪城ホール(大阪) | 調整中 | | | 71 別大マラソン | 大分 | | | |
| | 4(土)~5(日) | 23 日本室内陸上大阪 | 大阪城ホール(大阪) | 5(日) | | | 75 香川丸亀国際ハーフマラソン | 香川 | | | |
| | 調整中 | 8 全国中学生クロスカントリー | 希望が丘(滋賀) | 調整中 | | | 34 全日本びわ湖湖岸カントリー | 希望が丘(滋賀) | | | |
| | 19(日) | 106 日本選手権20km競歩 | 兵庫 | 調整中 | | | 51 実業団ハーフマラソン | 山口 | 18(土) | 44 世界クロスカントリー選手権 | パース(オーストラリア) |
| | 調整中 | 106 日本選手権・クロスカントリー | 福岡 | 調整中 | | | '23 熊本城マラソン | 熊本 | | 10 アジア室内選手権 | スミスตัน(カナダ) |
| 調整中 | 38 U20日本選手権・クロスカントリー | 福岡 | 調整中 | | | 56 青梅マラソン | 東京 | | | | |
| | | | | 調整中 | | | '23 京都マラソン | 京都 | | | |
| 3月 | 調整中 | '23 東京マラソン | 東京 | 調整中 | ○ | | 26 日本学生ハーフマラソン | 東京 | | | |
| | 調整中 | '23 名古屋ウィメンズマラソン | 愛知 | 調整中 | ○ | | 26 日本学生女子ハーフマラソン | 島根 | 17(金)~19(日) | 世界室内選手権 | 南京(中国) |
| | 19(日) | '47 全日本競歩能美 | 石川 | 19(日) | ○ | | 17 日本学生20km競歩 | 石川 | 19(日) | 7/7 世界選手権20km競歩 | 能美(石川) |

調整中 '23 大阪マラソン 大阪 ★=後援競技会、○=協力団体主要競技会 CT-B=WAコンチネンタルツアーオープンズ
CT-G=WAコンチネンタルツアーワールド

JTOs研修会

2022年1月29日(土) 13:00 ~ 16:20 オンライン会議

あいさつ

鈴木 一弘 競技運営委員長

この研修会開催の趣旨は、ルール修改正の趣旨等が各陸協へ正確に行われていない実態もあるため、この場でしっかり理解していただき、それぞれの地元や競技会でサポートをしていただきたい、ということである。本日は実りある研修としていただきたい。

競技規則修改正

片岡 裕介 委員

○TR17.4.3、TR17.4.4

- ・屋内・屋外を問わず同一のレースで、セパレートの種目では内側の線を越えて完全に隣のレーンに入ったら1回でも失格。ただしオープンレーンの場合は1回踏み込んだだけなら失格とならない。線を踏んだのは1回でも、他の選手を妨害したら失格となる。2回連続でも、別の場所で合わせて2回でも失格となる。
- ・同一種目のみ適用で、次ラウンドに繰り越しとなる。異なる種目には適用されない。混成競技は次の種目は異なる種目という扱いなので、同一レースで2回踏まないと失格とはならない。
- ・記録と次ラウンドのスタートリストに「L」を記載。

○靴に関する規程 (TR5.2)

- ・靴のカスタマイズは認める。ただし、WAへの事前申請と承認が必要。国内の場合、事前承認は不要。
- ・運用について、WAは事前チェックから、必要に応じて事後チェックを行うようにシフトしていく。国内では、必要以上に事前に現物チェックや届け出は行わない。

○フィールド種目の試技時間の変更 (TR25.17)

- ・「単独種目・混成競技ともに連続試技の場合、残っている人数に関係なく高さが変わった時も連続試技の時間を適用する」ように変更。

○走幅跳・三段跳の踏切り判定 (TR29.3)

- ・ビデオカメラを使用して判定することが可能となった。ビデオを使用しない場合は粘土板を使用し、ビデオを使用する場合は粘土板を使用しない。粘土板を使用して判定する際は痕跡主義とする。

○円盤投・ハンマー投の無効試技・囲いの境界について (TR32.14)

- ・右投げの場合、左側のネットにあたってセクター内に

落ちるケース、左投げの場合右側のネットにあたってセクター内に落ちるケースは無効試技とする。

○世界記録が公認される種目 (CR32)

- ・競歩(トラック) 35000m、道路競技50km、競歩(道路競技) 35kmが追加。競歩(トラック) 30000mを削除。

○記録申請の早期化・明確化(CR37.2、37.4.7、37.8)

- ・30日以内から、できるだけ速やかに(競技終了後1週間程度を目途)に変更。

○スタートに関する口頭抗議 (TR8.4.1)

- ・あくまでも国際扱いのままとする。レース後における通常の抗議 (TR8.4.2 ~ 8.4.4) は、国内でも認めるものとする。

○ジャンプオフ

- ・審判員がジャンプオフをやめるように仕向ける発言はしない。ジャンプオフになったら審判員は粛々と準備を進める。特に言う必要はない。

JTO 活動報告

羽田 雄一 幹事

2020年度と比べると多くの競技会が開催された。派遣された競技会では競技規則の修改正の運用方法やジャンプオフ、商標チェックなどが気を付けていただきたい点である。

JTOと広告展示物規程 ~派遣競技会での役割~

田中 康之 委員

広告展示物規程で大きな変更点はない。「競技者の衣類」と「所有物」を確認いただきたい。国内規程が適用される競技会が殆どである。JTO派遣競技会でも国際大会扱いの競技会では規程が違うので、確認を。

現地でも対応・判断に困るものはTシャツ等の装飾的なデザインマーク。競技用の衣類であれば認められる。トラック&フィールドの競技会では招集所・PECA・MIXゾーン等でチェックされると思うが、表彰式も忘れずにチェックをお願いします。

この広告規程の目的は、「競技会を支えるスポンサーの保護」「アスリートの保護」「アスリートを支えるスポンサーの保護」であるので、今後ともしっかりと取り組みたいし、協力をお願いします。

2021(令和3)年度 日本陸上競技連盟 全国競技運営責任者会議 議事録

1日目(2月12日) 13:00~16:00

開会あいさつ(鈴木事務局長)

本日ご参加ありがとうございます。コロナ禍においても地元開催にご尽力いただき感謝いたします。引き続き皆様のご協力をお願いしたいと考えます。

事務局マーケティング課より(田代事務局員)

2021年度をもって青山商事との契約が終了する旨、報告が行われた。

競技会報告

日本選手権(大阪)、IH(福井)、全中(茨城)、U18・U16(愛媛)、日本選手権混成(長野)の各大会について報告が行われた。

2022年度競技規則修正提案(片岡裕委員)

○曲走路の内側を踏んだ時の扱い(TR17.4.3, 17.4.4)について

○靴に関する規程(TR5.2)について

○走高跳・棒高跳の連続試技時間の変更(TR25.17)について

○走幅跳・三段跳の踏切り判定(TR29.3, 29.5, 30.1他)について

○円盤投・ハンマー投の無効試技・囲いの境界(TR32.14)について

○スタートリスト・結果に記載する略号(CR25.4)について

○世界記録が公認される種目(CR32)について

○記録申請の早期化・明確化(CR37.2, 37.4.7, 37.8)について

○スタートに関する口頭抗議(TR8.4.1)について

○競技会役員(CR13.28)について

それぞれ修正箇所の取り扱いについて説明が行われた。

施設用器具委員会報告(高木施設用器具委員長)

・国立競技場を第1種にできる規程を明文化する。
・粘土板は新ルール適用後も現在使用しているタイプが使用できる。

以上の項目をはじめとして、施設用器具に関する報告が行われた。

オリンピック・パラリンピック報告(鈴木委員長)

組織委員会の一員として活動した鈴木委員長より、オリンピック・パラリンピックについての報告が行われた。

日本パラ陸連からのお願い(関パラ陸連競技運営委員長)

日本パラ陸連競技運営委員長の関氏から、パラアスリートの競技会参加に関する提案が行われた。

2日目(2月13日) 9:30~12:30

分科会A

競技会公認申請(鍋島委員)

2022年度から、スタートする陸連公認競技会申請システムの運用についての報告が行われた。

記録公認申請(岩脇委員)

2021年に公認された日本記録について、また記録の申請にあたり留意してもらいたい点について報告があった。また、記録公認申請の現状と申請の際の注意点について、陸マガ担当者より報告が行われた。

監察員記録用紙の改訂(片岡典幹事)

監察員記録用紙改訂案、多種目同時出場届案についての報告が行われた。

広告展示物規則PTより(田中委員)

競技会における広告および展示物に関する規程についての説明、その運用方法等についての提案・報告が行われた。

PECについて(田中委員)

PECの役割についての説明や国内競技会での積極的なPEC運用の提案などが行われた。

分科会B

S級審判昇格審査報告(町田幹事)

S級昇格審査の実施報告と、申請にあたっての注意点の説明が行われた。

C級公認審判員制度導入状況(町田幹事)

2021年度C級審判員講習実施状況について報告が行われた。また、C級審判員を導入した6団体から実施例を紹介してもらった。

JTOs / JRWJsセミナーについて(羽田幹事)

2022年度に実施予定のJTOs育成セミナー、JRWJs育成研修会について説明が行われた。

JTOs報告(羽田幹事)

2021年度JTO派遣競技会の中から、いくつかの事例報告が行われた。

全体会

分科会報告(A:赤峰委員、B:関委員)

分科会A・Bの内容について、それぞれ報告が行われた。

WRKと登録システム、JAAF PROTEIN進捗について
(三宅経営企画課長)

2023年1月から運用が開始されるWRK(World Rankings Competitions)についての説明が行われた。また、2023年度から新しくする予定の登録システム(JAAF PROTEIN)についての説明も行われた。

閉会挨拶(鈴木委員長)

2日間ありがとうございました。皆様からいただいた質問事項や意見等は真摯に受け止め、今後の競技運営に反映したい。今後も皆様の協力をお願いしたい。

第46回日本陸上競技連盟トレーナー研修会報告

日本陸連医事委員会 トレーナー部 委員 眞鍋芳明

2022年1月16日（日）に第46回日本陸上競技連盟トレーナー研修会（以下、日本陸連トレーナー研修会）をオンライン研修会として開催しました。日本陸連トレーナー部は活動理念として、「選手のピークパフォーマンス発揮に貢献する」、「安全で健全な陸上競技環境作りに貢献する」を掲げており、登録部員を対象に研修会を行い、スキルアップを図ることを重要な事業の1つとしています。例年1月と8月に登録部員を対象とした研修会を開催しておりますが、昨年度と同様に今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のために8月の研修会を中止とし、1月のみオンラインにおいて開催させて頂きました。

今回の研修会アジェンダは図1の通りです。講義に先立ちトレーナー部総会が行われ、岩本部長の年頭の挨拶から始まり、山澤医事委員長から東京2020オリンピックの総評、および禁止表2022年についての解説や要点の整理についての情報共有を頂きました。

講義は「日本陸連トレーナー部としてのオリンピックレガシー」をテーマに、この夏に開催された東京2020オリンピック・パラリンピックにおける活動報告として、

4つの視点から話をして頂きました。

「日本代表帯同報告」では、代表に帯同頂いた常友・宮澤トレーナーのお二人から、選手村を中心とした活動の概要、新型コロナウイルス感染予防に関する苦勞、他のパーソナルトレーナーとの連携、そしてオンラインでのコンディションチェックシステムの有用性などについて、数多くの写真と共に報告頂きました。

「東京2020オリンピックにおけるCWI事情」では、東京オリンピック・パラリンピック組織委員会暑熱対策アドバイザーである細川先生より、本大会より実施が義務づけられたCWI（Cold-water immersion：冷水浸漬）に関して、最新事情およびその具体的な実践例についてお話を頂きました。

「東京2020オリンピックにおける救護活動」では、東京会場においてFOP Supervisorを務めた加藤トレーナー、札幌会場においてAthlete Care Assistantを務めた眞鍋トレーナーから、それぞれの会場における特に救護体制の構築から実践まで、非常に緊迫感あるお話を頂きました（図2および3）。

「東京2020パラリンピックにおける救護活動」では、

テーマ「日本陸連トレーナー部としてのオリンピックレガシー」

1. トレーナー部総会

念頭の挨拶：岩本広明（トレーナー部長）

アンチ・ドーピングの最新情報：山澤文裕（医事委員長）

情報提供・乳酸菌B240で免疫力アップ：大塚製薬株式会社

2. 講義

(1) 日本代表帯同報告

常友綾二（株式会社リニアート）、宮澤那緒（ReCuA Therapy Room）

(2) 東京2020オリンピックにおけるCWI事情

細川由梨（早稲田大学）

(3) 東京2020オリンピックにおける救護活動

加藤 基（トレーナー部委員）、眞鍋芳明（トレーナー部委員）

(4) 東京2020パラリンピックにおける救護活動

廣重陽介（トレーナー部委員）

3. 総括、質疑応答

図1 トレーナー研修会アジェンダ

東京パラリンピック陸上競技理学療法士主任を務めた廣重トレーナーから、パラリンピック会場における救護体制の構築から実践、さらにパラリンピックならではのアクシデントとその救護の実態についてお話を頂きました。

そして、総括では活発な質疑応答も行われ、様々な現場の意見、困難、工夫を共有することが出来ました。我が国で行われた世界のスポーツの祭典であり、史上初の大規模感染予防対策下において実施された東京2020オ

リンピック・パラリンピックを振り返ることで、日本陸連トレーナー部としての新たなレガシーを皆で感じることができた非常に良い研修会でした。この東京2020大会での日本陸連としての活動を今後の強化競技者へのサポート、国内大会でのサポート、各都道府県陸協での活動として生かしていくことを今後の課題にしつつ、さらなるレガシーとして残していきたいと思えます。

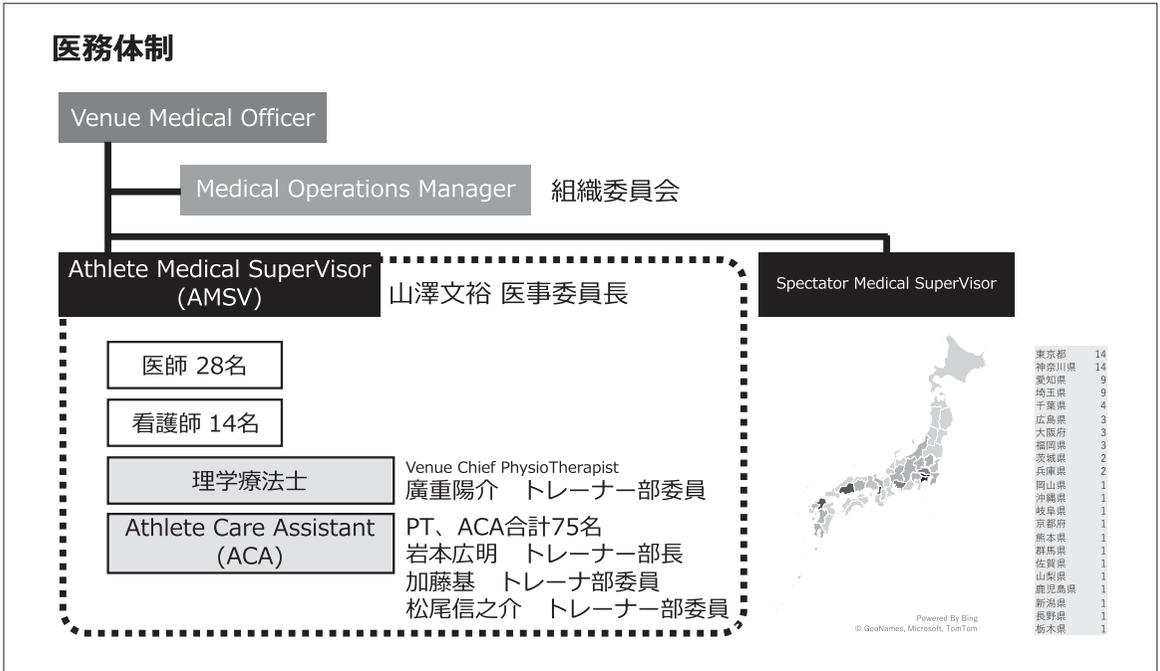


図2 東京2020オリンピック陸上競技（東京会場）における医療体制

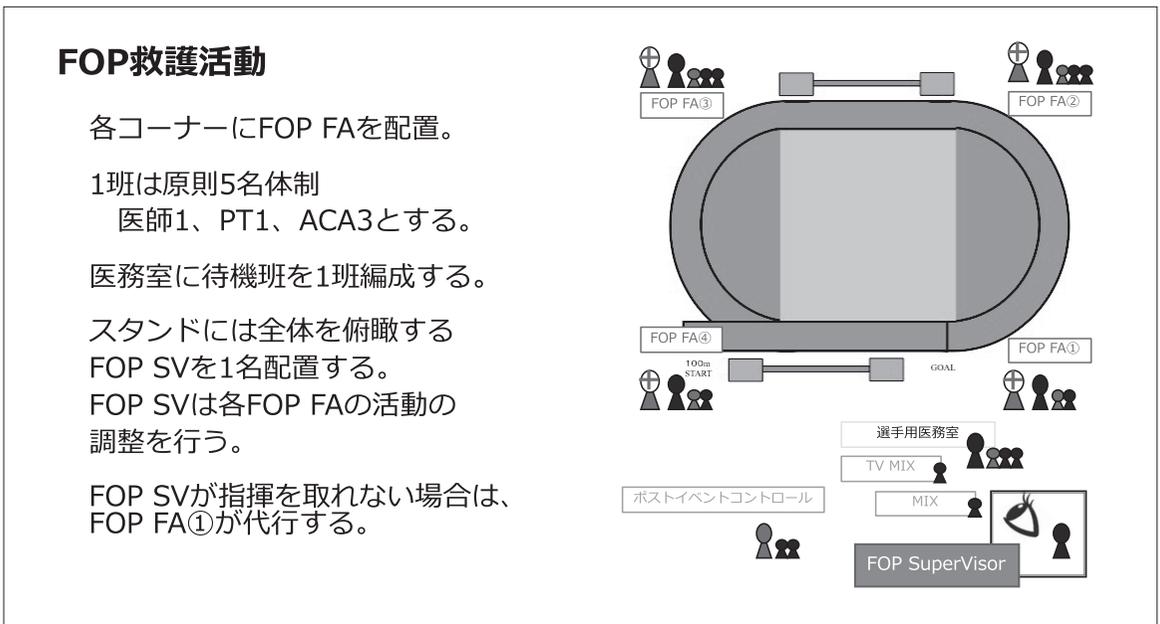


図3 東京2020オリンピック陸上競技会場における救護体制

大会観戦ガイド

第46回全日本競歩能美大会 併催 第16回日本学生20km競歩選手権大会 兼 オレゴン2022世界陸上競技選手権大会日本代表選手選考競技大会 兼 杭州2022アジア競技大会日本代表選手選考競技会 兼 ワールドユニバーシティゲームズ(2021/成都)日本代表選手選考競技会

※2022アジア陸上競技選手権・20km競歩(Asian 20km Race Walking Championships in NOMI 2022)は中止となりました。なお、第46回全日本競歩能美大会については感染症予防対策と拡大防止策を徹底し、開催いたします。

▼期日：2022年3月20日(日)

▼コース：日本陸上競技連盟公認能美市営20kmコース(往復1.0km)

▼種目・スタート時刻：

中学生男子 3km競歩 8時10分

中学生女子 3km競歩 8時10分

男子全日本・学生選手権 20km競歩 8時50分

女子全日本・学生選手権 20km競歩 10時35分

高校生女子 5km競歩 12時35分

高校生男子 10km競歩 13時10分

▼問合せ先：大会事務局

〒929-0113 石川県能美市大成町ヌ 118番地
能美市役所根上分室 教育委員会スポーツ振興課内
第46回全日本競歩能美大会 実行委員会事務局
TEL：0761-58-2273 FAX：0761-55-8555

▼大会ページ：

<https://www.jaaf.or.jp/competition/detail/1610/>

第106回日本陸上競技選手権大会・35km競歩 兼 オレゴン2022世界陸上競技選手権大会日本代表選手選考競技会 兼 杭州2022アジア競技大会日本代表選手選考競技会 第61回全日本競歩輪島大会<斉藤和夫杯：男女全日本10km競歩> 兼 カリ2022 U20世界陸上競技選手権大会日本代表選手選考競技会

▼期日：2022年4月16日(土)・17日(日)

▼コース：道の駅輪島ふらっと訪夢前往復コース・日本陸連公認競歩コース(1周1kmの往復コース)

▼種目・スタート時刻：

【4月16日(土)】

女子中学3km競歩・女子高校(1・2年)3km競歩 12：20

男子中学3km競歩・男子高校(1・2年)3km競歩 13：00

男子全日本10km競歩・男子U20 10km競歩 13：40

女子全日本10km競歩・女子U20 10km競歩 14：40

【4月17日(日)】

日本選手権 男子35km競歩・日本選手権 女子35km競歩 8：00

女子高校5km競歩 11：30

男子高校5km競歩 12：10

▼問合せ先：大会事務局

「輪島市教育委員会生涯学習課スポーツ推進室」

〒928-0001 石川県輪島市河井町20-1-1

TEL：0768-23-1176

▼大会ページ：

<https://www.jaaf.or.jp/competition/detail/1635/>



写真：フォート・キシモト

第24回長野マラソン

▼期日：2022年4月17日(日)

▼コース：

長野マラソン長距離競走路(日本陸連公認・AIMS公認)

スタート：長野運動公園(長野市吉田)

フィニッシュ：長野オリンピックスタジアム(長野市篠ノ井東福寺)

▼種目・スタート時刻：

マラソン 午前8時20分スタート

▼問合せ先：

長野マラソン大会組織委員会事務局

〒380-0928 長野市若里6-6-2長野市若里分室内

TEL：026-217-2490 平日9：30～17：00

※土日・祝日 12/29～1/4を除く

▼大会ページ：

<https://www.jaaf.or.jp/competition/detail/1636/>

事務局からのお知らせ

◆◆「今、最も強いランナーは誰だ!?!」

いよいよ、ジャパンマラソンチャンピオンシップシリーズ(JMCシリーズ) 初代王者決定! ◆◆

初代シリーズチャンピオンが決定するシリーズIは、男子は3月6日(日)開催の東京マラソン2021、女子は3月13日(日)開催の名古屋ウィメンズマラソン2022で国内加盟大会が終了し、海外レースの結果をもってランキングが確定します。

初代シリーズチャンピオンは、日本選手権王者の称号、そしてオレゴン2022世界陸上競技選手権大会の日本代表内定、さらに賞金600万を手に入れます。

～最新ランキング(2月27日時点)～

| <男子> | | <女子> | | | |
|------|-------------------|--------|----|----------------|--------|
| 1位 | 細谷恭平(黒崎播磨・福岡) | 2646pt | 1位 | 松田瑞生(ダイハツ・大阪) | 2578pt |
| 2位 | 大塚祥平(九電工・福岡) | 2602pt | 2位 | 上杉真穂(スターツ・千葉) | 2477pt |
| 3位 | 山下一貴(三菱重工・長崎) | 2503pt | 3位 | 松下菜摘(天満屋・岡山) | 2460pt |
| 4位 | 高久龍(ヤクルト・東京) | 2472pt | 4位 | 阿部有香里(しまむら・埼玉) | 2453pt |
| 5位 | 藤曲寛人(トヨタ自動車九州・福岡) | 2471pt | 5位 | 佐藤早也伽(積水化学・千葉) | 2447pt |



▼JMCシリーズ特設サイト

<https://www.jaaf.or.jp/jmc-series/>

◆◆セイコーゴールデングランプリ陸上2022東京

キービジュアル第1弾公開!～国立競技場での熱狂を再び～◆◆

セイコーゴールデングランプリ陸上2022東京の第1弾キービジュアルが完成いたしましたので、お知らせいたします。

▼詳細はこちら

<https://www.jaaf.or.jp/news/article/15836/>

▼特設サイトはこちら

<http://goldengrandprix-japan.com/>



◆◆「その日、決まる。その日、始まる。」～王者誕生の日、そして世界への扉が開く日～

第106回日本陸上競技選手権大会 第1弾キービジュアル公開! ◆◆

2022年6月9日(木)～12日(日)に開催する「第106回日本陸上競技選手権大会」キービジュアル第1弾が完成いたしましたのでお知らせいたします。

▼詳細はこちら

<https://www.jaaf.or.jp/news/article/15870/>

▼特設サイトはこちら

<https://www.jaaf.or.jp/jch/106/>



陸連時報編集委員

◇編集委員

- 尾縣 貢(陸連会長)
- 黄倉 寿雄(陸連副会長)
- 瀬古 利彦(陸連副会長)
- 有森 裕子(陸連副会長)
- 風間 明(陸連専務理事)
- 山崎 一彦(陸連強化委員長)
- 鈴木 英穂(陸連事務局長)
- 牧野 豊(陸上競技マガジン編集長)

◇時報編集室責任者

- 石井 朗生
- ◇時報編集担当
- 日本陸連 広報課

陸連時報編集室

〒160-0013
東京都新宿区霞ヶ丘町4-2
JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9階
日本陸上競技連盟内
TEL: 050-1746-8410
FAX: 050-3588-1869